

AzuraLight

アズールライト



ino
鍋亭

inoshishi

Adult
R18 only

Azure Light



いかんせん 人間の
文字はまだ不慣れで
読める本が少なくてな

…アリシアか
暇潰しの本を探しに
書庫に来たのだがな



あれ?
どうしたんですか
ラピスさん?

お探しの御本が
おありですか?



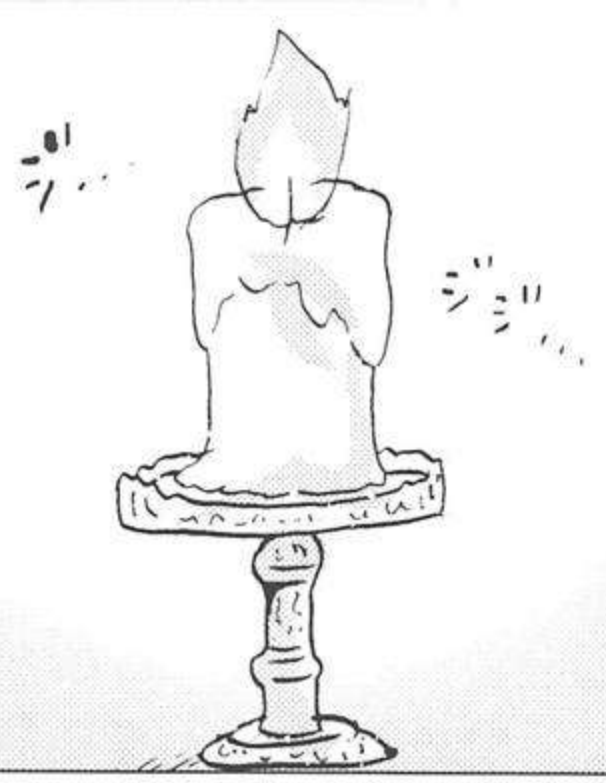
それでいて
言葉の勉強にも
なるような…

そうでしたか
ラピスさんにも
読みやすい御本…



『英雄王の伝説』

あっ でしたら丁度よい
御本がありますよ
私のイチオシです!
絵本なんですけど…



どうしたんだラピス
こんな夜遅くまで
書庫に残って

そんな暗いところで
本を読むと目が
疲れないか？

…今度は王子か
お前達は本当によく
構ってくるな

魔界ではこのくらい
の灯りが普通なのだぞ
お前達と同じに考
えるな

懐かしいな
その本
昔よく読んだ

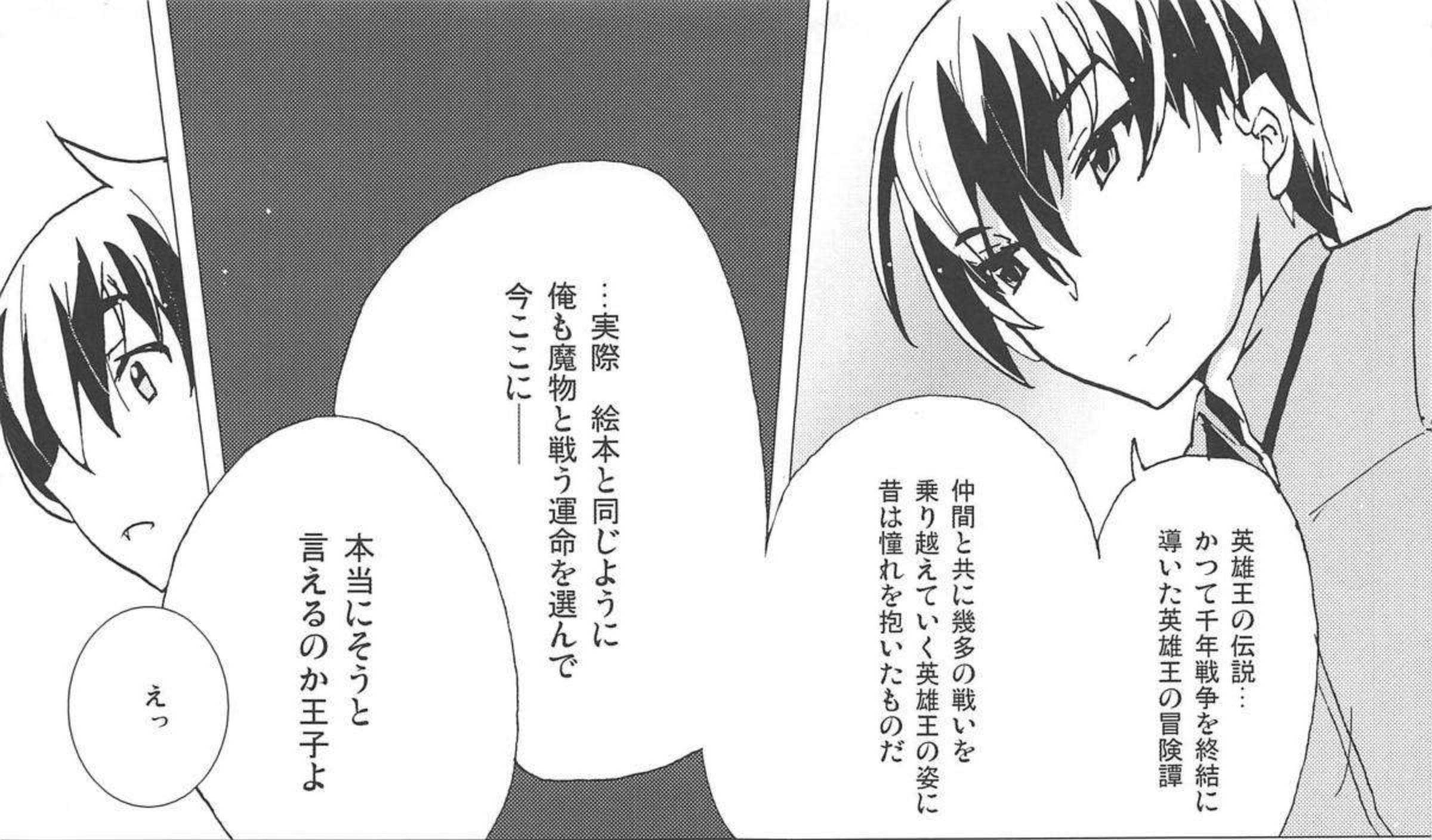
ああ この本な
アリシアが
わたしにと
薦めてくれた

『英雄王の伝説』…
絵が多く、文も易しい
幼子向けの絵本だ
と思うのだが

王子も読んだ
ことがあるのか？

その本はな
俺とアリシアの
思い出の本なんだ

まだ俺達が
小さかったころ
一緒によく読んだ



英雄王の伝説…
かつて千年戦争を終結に
導いた英雄王の冒険譚

仲間と共に幾多の戦いを
乗り越えていく英雄王の姿に
昔は憧れを抱いたものだ

…実際 絵本と同じように
俺も魔物と戦う運命を選んで
今ここに――

本当にそうと
言えるのか王子よ

えっ



お前が過去に憧れ
夢想した英雄王の雄姿…
今のお前はなぞれていると

本当にそう言えるのか？



手厳しいな
もちろん実力の不足は
認めるさ
だから自分だけではなく

仲間達と共に
目指すと決めた

そこだ 王子よ

魔人や…一度は弓引いた者さえ
仲間を含めるようなお前が
かつての英雄王と同じ？
わたしには到底そうは思えんな



人間と魔人…
思想も立場も
膂力さえも異なる

本来なら我々は
交わるべきではない
まして仲間など…

盲目的な付和は
却って
不和を呼ぶぞ



お前こそ何を言っているのだ
英雄王は確かに魔物を退けた

何を言っているんだラピス！
仲間に種族も立場も関係ない！

だが魔界に住む魔人や
他の種族とは交わらぬまま…
それがこの泰平の千年を成した

人間と魔人：
人間界と魔界：
異なる者同士が距離を取ることで
互いの平和は保たれてきたのだ

それが お前の憧れた英雄王の
見つけた現実的な平和の形：
お前達が享受してきた千年の在り方だ

有象無象を仲間に束ねんとする
お前のやり方とは違う

人間と魔人に限った話ではない
千年前 相争った竜人は地下へ逃れ
恭順を嫌うエルフは森へ隠れた：

しかしその断絶が
奏して 千年の泰平は
築かれたのだ

違う！ きっと言葉を交わせば
解り合えた 俺達がそうして
仲間を得てここまで来たように…！

王子よ
お前達の旅と戦いを
否定はせぬ
絆が力となることも認める

実際 王国を
取り戻したのだからな

だがお前の愛は
大きすぎて
世界を壊す



人間も異なる者も
分け隔てなく悉くを
お前は仲間として迎え

最初に描いていた理想の世界像には
おそろしくいなかったであろう者達さえ
いつの間にか自然と組み込み

この王国における局所的な関係性が
全世界にも適用できると…
お前は信じて疑わない



だがな世界の誰もが
お前のように
他者を受け容れる

大きな愛を持っている
わけではないのだぞ

そんなことはない！
それに…

相容れない相手を遠ざける
だけでは…寂しすぎる！



少し
手緩く接しすぎたか

ぐはっ!!

力の前では 愛情など徒情け
魔界では力ある者が力なきものから
何もかもを奪うのが摂理

愛情で絆すというお前の理屈など
魔界では芥に等しい

…丁度良い わたしが今から
力でお前に教えてやろう
魔界の理を…な

知れたこと… 他者に
愛情を与えるばかりの
お前から

わたしが力で以て
無理矢理奪うのだ
尊厳も 快樂も 信念も

愛情など愚かしいと
骨身に沁みるまで

ラピス
な 何を
するつもりだ…



もはや身じろぎするだけでも
強烈な快感が走るはずだろう

ほう 今ので達しなかったか
さすがは英雄王 だが
すでにわたしの魅了の虜

イクッ

ッ

サッ



…王子よ お前は
自身を過大に錯覚している
卑小な身の程を弁えろ

わたしが傷つく？ 一方的に
お前が奪われるだけの
この状況でよく言える



やめろラピス…！
俺はお前とこんな
傷つけ合うような交わりを
したくない…



さあ 早く屈してしまえ
そして愛情など通じぬ理もあると認めろ
お前は その手の届く者にだけ
お前の愛情を注げばよい

その範疇を超えて
振り撒くのは 徒に
世界に争いの火種を生むだけだ

俺は決して
それを…認めるわけには
いかない……

認めろ王子！

さもなくばこうして
力で奪われ
傷つけられるだけだぞ！

それを認めたら

お前を
傷つけることになる！

……ッ！

たとえ理に合わずとも
注がれた愛情があったから…
諦めなかった少女がいたから

だからお前はここに
いるんだらう？
その理由に 思想も 立場も 膂力も 関係ない

愛情の絆す世界を否定することは
ここにいるお前を
否定することになってしまふ

それにとえ
俺の手では届かなくても
俺以外の誰かの手であれば
届くかもしれない

だったら俺は誰にも
その連鎖を否定させない

…たとえ火種を孕んで
いたとしても 愛情が
絆す世界を拡げ続ける

届けられたその相手は
さらにまた別の誰かへ手を
届かせるかもしれない

今ここでわたしに奪い尽くされた
方が幸せだったと
後悔する地獄を見るぞ！

それが魔界だ！

臨むところだ！
それこそが俺の千年戦争…

俺の目指す次の千年の
平和の形だ！

やっ!? いつの間に
魅了を破って…!!

お前は露悪的に振舞いながらも
助けようとする
…それは「愛情」と表現
できる感情だと俺は思う

ひにゃんっ
都合の良いように
勘違いするな王子!
これだから人間は!

お前は優しいよ ラピス
傷つくルチアを見過ごせなくて
自ら傷つく道を選ぶ俺を
許せなくて



…馬鹿者

フア
サ……

異なる者でも
たとえ敵対した者でも
愛情は届く

お前が 俺に
信じさせてくれたんだ
…そんな世界を



悪かったよ だけど
今回はラピスの方から
喰ってかかってきたんだぞ

お前達は都合よく拾い
都合よく勘違いして いつも
自分達の理を押し付けてくるな

ク
チュ



もう少しだけ
押し付けがましくしても
いいかラピス？

ここまで勝手しておいて
今さら訊くなっ
いいから手を握れ

…いくぞ
ラピス



王
子
ア
ッ
ッ

あ
あ
あ
あ
あ

ビク
ビク



いちだんとラピスが
俺を認めてくれる
ようになったって
ことかな

今日はお前の形が
よく分かる…

ふあっ

あっ



違う王子！
そういう意味ではない

またお前はそうやって
都合よく勘違いする！



王子は
魔界のデーモンより
よっぽど独善的だ！

だったら
ラピス

お前ももっと素直に感じてくれ
その方が俺だけ善くなるより
ずっと嬉しいんだ



そ そんなこと
今言うの

ずるいぞ王子！
わたしは…わたしは…！

ラピス
お前の本心を
聴かせてくれっ…！

ふーい
あーあ
あーあ



おっ
びら
っ

あーあ
あーあ
あーあ

あーあ
あーあ

まったくつい
雰囲気で妙なことを
口走ってしまった…

ハハ 悪かったって
でも俺はラピスのこと
が少し分かって嬉しかったよ

わたしにもひとつ分かった
お前もまた与えるだけでなく
皆に愛情を与えられて
こうしてここにいるのだな

いいか王子よ
お前の愛情が尽きせぬ
ように 世界の愛情が
途切れぬように

せいぜい努めるのだぞ
そしてわたしに
いつか読ませてくれ…

未来に描かれる絵本を

お前の英雄譚を

Fin

-ATOOGAKI-

お世話になっております。inoshishiです。このたびはラピス様えち本をお手に取って頂き、本当にありがとうございます！ パテルちゃん、リフネさんに引き続いて、今回もえっちなマンガを描いてしまいました！ 今回のメインキャラクターはラピス様！ ユニット化が発表される前からラピス様で描きたいと思っていたのですが、数カ月を経てようやく形になりました！ アイギス関連の同人誌もこれで3冊目。ゲームも、即売会も、長く続いてくれていることに感謝しきりです。自分も微力ながらその一助になればという思いです。

さて今回のラピス様えち本も、今までと同じく王子の描写にこだわりました。「英雄王」とはなんだろう？ そんな命題に少しだけ踏み込みつつ、王子の強さと危うさに焦点を当ててみました。マンガの中で王子が淀みなく答えているのは、常に心のどこかで自問し続けているからこそその回答で、また確信が持ち切れずにいるからこそそのラピス様への宣誓なのです。それが分かっているラピス様も、憎まれ口はこぼしつつも王子の言葉を否定はしていません。水掛け論になってしまうし、ある意味では王子の内面を打ち明けられた形ですから、もう何も言わず受け止めてあげるしかないですね。せめて王子の信念が折れぬように、愛情が尽きせぬように、奪うのではなく与える側へと素直に転じています。その温かさはルチアちゃんからもらった分かもしれません…

また今回テーマにした「愛情」は以前に描いたヒバリさんピロートークマンガの内容を受けて繋がっています。そのヒバリさんマンガも「過去」のキーワードでリフネさんマンガと繋がって…というように、自分の同人誌・ペーパーは頒布日順に少しずつテーマがリンクしている…つもり…なので、ぜひお持ちの方は繋がりを探してみてください。

イラストが本分なのでマンガはまだまだ上手く描けませんが、楽しんで読んで頂けてたら幸いです！

ローマ

みんなだいすきローマちゃん。王子のお付き兼いもうと分。明るくて気立てもよくて笑顔が可愛い王国軍の癒し系アイドル。巷では王子の初めての相手なのではとまことしやかに囁かれているが、真相は定かではない。最近、東の国の「巫女」装束を着ることができて、和服がマイブーム。まだ自分では上手く着付けができないが、カグヤやヒカゲに手伝ってもらって、ときおり異国情緒を堪能している。巫女装束で放つおみくじ付の矢は靈驗あらたか。ただしおみくじは手作りのため、全て「大吉」。そんなところも魅力と評判。

アリサ

みんなだいすきアリサさん。王国軍のアイドルとしてローマちゃんと人気を二分する。本人は目立つことが苦手なので、ファンは遠くから合掌してその可憐さと尊さをありがたがるという。巷では王子の2番目の相手なのではと囁かれているが、真相は定かではない。最近、サツタ衣装を着る機会に恵まれ、さすがに普段から着ることはできないが、部屋でこっそり楽しんでいる。王子以外の男性が苦手なので、一時期直そうとしたこともあったが、どんどん王子軍は女性比率が上がっているため、特に困らなくなっているのも事実。治療師としての修練を重ねる一方、白の帝国との技術交流の中で、祈りに頼らない治療をエリアスから教えてもらっている。

コハル

べんべんべん。お代は見てのお帰りでい。猫には小判？ 違うね。欲しいのはその感動。魂のパッション。金なんざチツケな物は必要ないよ。そのお金はウチの猫に使ってやりな。うんと優しくしてやりな。猫は3日で恩を忘れるとは言うけども、化け猫になっても憶えてることもあるもんだ。恨みもね。気を付けなよ。猫は恐ろしい生き物なんだ。お前さんは猫を飼ってるつもりかもしれないが本当は猫がお前さんを飼ってるんだよ。ちびったかい？
べんべん。

ゴライア

体重 130kg~150kg 原産国 白の帝国

体高 1.9~2.1m

主食 ビール、おつまみ

☆ゴライアの飼育

- ・かなりやんちゃで手を焼きますが、本来は滅多に吠えず落ち着いています。
- ・不服従訓練（自己判断）に長けているために、いい加減な飼い主の言う事は全く聞かないので、初心者向きではありません。
- ・極地の竜特有の自立心が発達しているため、放浪癖があります。





ルチア

魔界で迷子になり半死半生になっていたところをラピスに救われた帝国の神官戦士。紆余曲折あったものの、ラピスには深い感謝の念を持っている。恩人が帝国軍ではなく王国軍に入ったことに驚き、寂しく思うものの納得してしまう気がする今日この頃。魔界での長期滞在経験をもとに『魔界見聞録』を執筆。特に「食べられる野草・キノコ100選」のコーナーは、両国軍の魔界進出に多大な貢献をしている。今はラピスに人間界の色々な料理を食べてもらいたくて、（拾い食いの癖を直してもらいたくて、）ときどき王国軍を訪れては一緒に食事をしている。



ノエル

古式ゆかしい、のじゃのじゃ少女。子供っぽい見た目と、年より臭い口調が相まって、年齢についてはミレイユに次いでかなり謎なところ。プルとは何か通じ合うものがあるのか、大の仲良し。ときどきデュエットで歌っている姿が王城の大劇場で見られる。司祭としての技量は確かで、ドワーフ達のために定期的にミサを執り行っている。



ラピス

宝石の名を持つ屈強の魔人。触れることなく千万の軍勢を討ち滅ぼすことさえ可能。もし彼女が本気を出せば、魔物だろうと王子達だろうと恣にいたがれるのだが、両陣営にとって幸いなことに嗜虐的な趣味はないらしい。もっぱら趣味は拾い食い。落ちていけるものでも食べられそうなら大地に感謝しながら頂く。拾ったルチアのごともちょっと食べてみたいなど思っているが、いざ対面するとしどろもどろになって言い出せない。独り気ままに生きているようで、興味の対象として、意外に他者のことを慮るところがある。王子いわく、愛が無くても尽くしてくれるタイプ、とのこと。むしろ、尽くすうちに情が湧いてしまうタイプ、とも。召喚する悪魔は、実家の庭の栽培インプと言っているが真相は定かではない。

エルフ

街娘、という言葉が似合う愛らしい少女。自罰的かもしくは自儘な気風の墮天使の中でいちばん人間に近い感性を持っているかもしれない。お世話になったときに憶えたパン屋顔負けのパンはひそかな自慢。女性の好むような菓子パンやライ麦パンを毎日焼いているためとても感謝されている。



-OKUDUKE-

名称

ラピス様えちち本『Azure Light アズールライト』

発行

2017.05.06 inoshishi (ino鍋亭)

連絡

inoshishi41@gmail.com pixivID:1303816

印刷

ちこのしっぽ様

注意その1

本誌は成人向けです。18歳未満および
高校在学中の方の所持閲覧を禁止します。(ごめんね!)

注意その2

本誌のアップロードおよび共有目的での
複製、転載の全てを禁止します。

ino
鍋亭

inoshishi

Adult
R18 *only*

